
技術アドバイザー国際委員会 (ITAC) からの意見

高レベル放射性廃棄物地層処分の 技術と安全性(案)(レベル3資料)

ITAC-4 (2003年1月) 及び ITAC-5 (2003年7月)
での意見のまとめ

「高レベル放射性廃棄物地層処分の技術と安全性(案)」 (レベル3資料;RC-3)について

1. 本書の2つの目的（公募関係資料「処分場の概要」の技術的基盤と今後の方向性の提示の計画）及び対象とする読者（技術的専門家）は明確に定義されている。
2. このような2つの目的を持たせるため、本書の作成には工夫が必要となるが、目次と構成は適切に設定されている。
3. 第2次取りまとめ（サイクル機構）は出発点として適切であるが、NUMOは公募地域のサイト環境条件に適合できるよう設計オプションの幅を広げることが必要と考えられる。
4. この観点から、設計オプションを拡張する方向性を示す第7章“今後の展望：サイトに応じた処分場概念の開発”は良いアイデアである。
 - ▶ 特にNUMOは公募方式をとっており、種々の処分場概念を念頭におくことは、応募地域に依存して幅広い環境条件を考慮する必要性が生じる可能性に対して重要となる。

「高レベル放射性廃棄物地層処分の技術と安全性(案)」 (レベル3資料;RC-3)について

5. レベル3資料においては、安全評価が考慮事項(及びサイト特性調査計画)とともに処分場概念の開発と関連付けられるべきであるということが明示されている。
6. 段階的に計画を実施するという進め方については丁寧に説明すべきである。
7. モニタリング,点検可能性,可逆性,回収可能性,実証施設に関連した事項についてNUMOの考え方を記載することは意味があると考えられる。(現段階で確定的に示さないまでも)
8. 操業安全性と工学的実現可能性が重要であることをより強調すべきである。
9. レベル3資料は,5回の技術アドバイザリー国際委員会での議論の成果が反映されている。

「概要調査地区選定上の考慮事項の背景と技術的根拠(案)」(レベル3資料;SF-3)について

1. 大変うまくまとめられ工夫されている。
2. サイト選定のための文献調査計画：
 - データ項目のリストは包括的であるが、これは言わば“望みリスト”であって、絶対的に求められる条件としてのリストではない。
 - そのサイトのデータが利用できない場合には、類似の環境条件を持つ別の情報源から得ることが考えられる。
 - データの解釈と評価のためのガイドラインを明らかにすること。
 - データ収集に地域社会の参加を得ることは、良い考えである。
3. ITACは本書も含めNUMOが計画する外部レビューを適切に支援する。
4. 本書は積極的に配布すべきである。例えば、大学や研究機関への広範な配布は有意義。
5. ITACはNUMOが論文を投稿したり、英文資料をまとめることを奨励する。

「概要調査地区選定上の考慮事項の背景と技術的根拠(案)」(レベル3資料;SF-3)について

7. 概要調査地区選定の方法論:

- 個別地区ごとに評価する事項に関するデータが有する不確実性の理解と解釈は極めて重要である。
- したがって、ITACは以下の点でNUMOが透明性と追跡性を持った方法を検討することに賛同する。
 - 不確実性に関する専門家の考えや理解について整理して示すこと
 - 種々の決定を行うプロセスに役立てるため、定性的な洞察を与えること

8. サイト特性調査計画の策定:

- モデル地質環境条件を設定して予備的に一般性のあるサイト特性調査計画を示すことは好ましいことである。(NUMOにとっても、応募区域にとっても)
- このような計画はどのようなサイトに対しても統一的な評価を行うことを確かなものとする上で助けとなる。

9. 国際テクニクスミーティング(ITM):

- NUMOにとって重要な分野における合意形成を図るための良い方法である。